

新型コロナウイルス感染症について ver. 4

R2/3/15 院長

★パンデミックに入る！

感染症が一定の地域だけではなく世界中に感染が広まった状態をパンデミックと呼びます。2009年の新型インフルエンザ感染症の時も同様に1例目が発症して2ヶ月後にWHOはパンデミックと宣言しています。今回とほぼ同じ経過です。2009年を思い出しましょう！今よりも落ち着いていたのではないのでしょうか？少なくともトイレトペーパー騒ぎはありませんでした。

★感染力は？ 721万人 vs 699人

一人の患者から何人に感染させるかの指標があります。身近なインフルエンザで1.4~4人で、麻疹12~18人、風疹6~7人です。COVID 19は今のところ1.4~2.5人と考えられており、インフルエンザと同等かあるいは低い数字です。麻疹や風疹よりも全然少ない数字です。感染力に関しては特に強いという証拠はありません。

季節性インフルエンザは通常日本人の約1000万人以上が罹患します。ちなみに今年のインフルエンザ罹患患者数は3/13時点で約721万人です。ではCOVID 19はどうかというと1/15に国内第一例が確定してから約2ヶ月が経過し3/13時点でCOVID 19感染者は国内で699人（クルーズ船は除く）程度です。連日感染者がでたと報道されていますがインフルエンザ罹患患者の数と比べて千分の一と全然桁が違います。ただし、インフルエンザは迅速検査がありますが、COVID 19は今のところ迅速検査は国内にはなく軽症例は検査できないので患者数はおそらくかなり過小評価されていることは考慮する必要があります。中国、韓国、イタリアと比べ検査数が圧倒的に少ないのです。今後も患者数は増えますが果たしてインフルエンザ並みの流行になるとは思えません。

★死亡数は？ 2000~3000人 vs 21人

右の表1は厚労省の発表しているインフルエンザによる死亡者数・死亡率の値です。年間数千人の方がインフルエンザにて亡くなっています。2019年1月だけで1685人がインフルエンザで亡くなっており、

	H30年	H29年
死亡数（人）	3323	2569
死亡率（人口10万対）	2.7	2.1

表1 インフルエンザによる死亡者数

1日平均で死者54人となります。また米国では、今シーズンすでに1万人以上の方がインフルエンザで亡くなっています。3/13時点で国内発生例のCOVID 19での死亡数は21人だけです。今後の推移を注意深く見守る必要はありますが、絶対数ではかなりの違いがあります。3/13時点でWHO（世界保健機構）の報告によれば世界全体では死亡率（死亡数/感染者数）は3.7%で、中国でも武漢以外では0.8%と低い数字です。イタリアでは急激な患者数の増加でおそらく医療体制が崩壊し以前の武漢同様死亡率が高くなっています。

★3/13時点でのまとめ

感染力はインフルエンザと比較して同等くらいですが、死亡率はCOVID 19の方がやや高めです。COVID-19は無症状でも肺炎を発症し、感染力があるので厄介です。ただ80%以上は軽症いわゆるかぜで終わりますので心配しすぎる必要はありません。咳は感染症以外でも様々な原因でできます。咳エチケットは必要ですが、咳する人を蔑視する風潮は悲しく愚かです。感染症と差別の歴史（ハンセン病やエイズなど）から我々は何を学んだのでしょうか？正しいことを知らないことがいかに人を傷つけるか歴史は繰り返されています。

“ものを怖がらなさ過ぎたり、怖がりすぎたりするのはやさしいが、
正当に怖がることはなかなか難しい”

寺田寅彦